

大宮前体育館指定管理者候補者の選定結果

1 件名

大宮前体育館指定管理者

2 選定事業者

- (1) 団体名 コナミスポーツクラブ・杉並建物総合管理事業協同組合共同事業体
代表幹事 株式会社コナミスポーツクラブ
代表取締役社長 落合 昭
- (2) 所在地 品川区東品川四丁目10番1号

3 指定管理期間

平成31年4月1日～平成34年3月31日(3年間)

4 選定経過

平成30年 6月29日 公募開始
8月22日 公募締切り(2事業者)
9月4日 第一次審査(書類審査)
10月22日 第二次審査(現地視察、プレゼンテーション及びヒアリング審査)
指定管理者候補者の選定

5 選定理由

選定委員会が定めた審査基準(別紙参照)に基づき、第一次審査(書類審査)及び第二次審査(現地視察、プレゼンテーション及びヒアリング)を実施し、評価点数(平均点合計)が合計点数の6割以上、かつ最上位であるため。

6 選定委員会の構成

職名等	氏名
筑波大学 体育系教授	菊 幸一 (会長)
首都大学東京 都市環境学部教授	奥 真美
健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会委員	野田 信雄
区民生活部長	森 雅之
区民生活部地域活性化担当部長	安藤 利貞

7 審査結果

	評価項目		配点	A	コナミススポーツクラブ・ 杉並建物総合管理事業協同組合 共同事業体
第一次審査	団体適正	法人(団体)としての 事務遂行能力	12点	7.8	10.4
	基本方針	施設の管理運営に関する 考え方・理念	12点	10.4	9.6
	施設の提供	運営・管理に関する業務	28点	22.2	24.6
		維持管理業務			
		組織及び人員			
	事業の提供	スポーツ振興事業	28点	21.4	21.4
		自主事業			
	効率的な管理運営	収支計画	20点	13.6	14.8
小計(100点)			75.4	80.8	

	評価項目		配点	A	コナミススポーツクラブ・ 杉並建物総合管理事業協同組合 共同事業体
第二次審査	プレゼンテーション 及びヒアリング	業務の理解と参入意欲	20点	16.0	17.5
		安定性・実効性	20点	16.0	15.0
		創意工夫・独自性・ 地域性	20点	12.5	16.5
	視察	サービスの提供状況の 把握等	20点	15.0	17.0
	提案内容に関する総合評価		20点	14.0	15.0
	小計(100点)			73.5	81.0

第一次審査・第二次審査 合計	149	162
(評価点/配点合計)	74.5%	81.0%
順位	2	1

※点数は、評価項目ごとに、選定委員の平均値をその項目の評価点とし、すべての項目の評価点の合計を最終評価点とした。(小数点以下は四捨五入)

8 所管課

区民生活部スポーツ振興課

指定管理者候補者選定審査基準

〈第一次審査(応募書類による審査)〉

評価項目			評価の視点
団体適正	法人(団体)としての事業遂行能力	経営方針・経営状況・賠償責任能力	指定管理期間である3年間、安定的に施設の管理を行うことができる経営状況(流動比率・自己資本比率・固定比率・固定長期適合率等の財務諸表)、賠償責任能力が認められるか。
		体育施設等の管理運営業務実績	体育館・運動場などのスポーツ施設の管理運営(施設の維持管理業務のみは除く)又はそれに類する業務について、十分な業務実績を有しているか。
基本方針	施設の管理運営に関する考え方・理念	体育施設の運営に関する考え方・理念	体育施設の運営にあたり、目指すべき体育施設像など区の求める公募の趣旨を踏まえた考え方が示されているか。
		公の施設管理代行であることへの理解	指定管理者として要求される法令を遵守し、コンプライアンス徹底の組織的な取組がされているか。
施設の提供	運営・管理に関する業務	区民(利用者)の立場にたった質の高いサービス	区民、利用者の声を反映し、質の高いサービスを提供する内容となっているか。
		施設利用促進の新たな取組	区民が集うアイデア、広報活動等、利用促進や地域の活性化につながる新たな取組が、具体的かつ実現性のある内容となっているか。
		安全・安心な運営のための取組	緊急事態(火災・地震・突発的な事故)の対応方法、個人情報保護及び情報公開への取組が適正か。
	維持管理業務	適正な維持管理計画	施設、設備の日常点検、修繕、長期保全など利用者の安全性、快適性確保に向けた維持管理の考え方、施設の管理状況の把握方法などは適正か。とくに、修繕の実施に対する積極性はみられるか。 また、省エネルギー対策やごみ減量など、環境負荷の軽減の取組はどうか。
		組織及び人員	組織体制及び人員配置
事業の提供	スポーツ振興事業	スポーツ振興事業の確実な実施	体育館等の一般使用事業、体育の日イベント、スポーツ教室等スポーツ振興事業の確実な実施が見込めるか。
		スポーツ教室等の事業の考え方や内容の妥当性	障害者などスポーツをする機会の少ない者を対象とした事業、運動していない人を対象とした事業、オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成や、大会後のレガシーを目指した事業などの事業量が確保されるとともに、具体的で、妥当性が高い内容となっているか。
		地域住民へのスポーツ振興に向けた取組	当該施設外での取組や地域資源の活用など、地域を面とし、地域住民にスポーツが身近になるような魅力ある取組が提案されているか。
	自主事業	自主事業の考え方や内容の妥当性	自主事業の考え方(対象、参加費設定等)が妥当であり、具体的かつ実現可能で、スポーツ振興事業への好影響が見込まれるか。とくに、貸切り使用、行政使用等、本業務の妨げにならない範囲か。
効率的な管理運営	収支計画	指定管理料削減の工夫	利用料金以外のその他収入の手段を検討し、管理運営経費など指定管理料を削減する工夫がされているか。
		積算内容の妥当性	共通フォームに基づく費目で、積算内容は妥当であるか。
		安定的な運営	提案された事業計画との整合性が取れ、安定的な運営が確保され、かつ実効性のある収支バランスとなっているか。

〈二次審査(プレゼンテーション、ヒアリング等による審査)〉

評価項目	評価基準
業務の理解と参入意欲	施設の管理運営及び事業実施に関する明確なビジョン、コンセプトがあるか。
	法人(団体)として、業務を遂行する意欲と責任感が感じられたか。
安定性・実効性	提案内容の確実な実施が見込めるか。
	3年間を通して妥当な収支計画となっているか。
創意工夫・独自性・地域性	提案内容に新規性や独自性があるか。
	提案内容に地域に親しまれる取組はあるか。
現在事業者が運営している 体育施設等の現状	職員の対応など、利用者が利用しやすい運営を行っているか。
	施設内の清掃、利用案内、安全対策、避難経路の案内など施設環境が整っているか。
提案内容に対する総合評価	応募書類、プレゼンテーション、ヒアリング、経営評価等全体を総合的に判断して、指定管理者としての適格性はどうか。